

送辞

例年より遅くに降った雪が残る中にも、春の陽気が感じられる季節となりました。

本日、晴れて卒業の日を迎えられました、三年生、百四十二名の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

三年生の皆様は、様々な場面で、いつも私たちの前に立ち、導いてくださいました。

私たちが、入学したばかりで、わからないことも多く、不安もある中、三年生の皆様は、優しく接してくださり、そのおかげで、次第に楽しく学校生活を送ることができるようになりました。

白樺祭でのステージ発表では、動画やステージの上でのパフォーマンスの構成など、工夫とアイデアが詰まった内容に、「さすがは、三年生だ」と感動しました。本当に楽しませていただきました。そして、合唱では、皆様の、力強く、胸に迫るような歌声に、私たちもこんな合唱ができるようになっていたいと強く思いました。

体育祭でも、皆様は、全力で勝負しながらも、学年やコースに関係なく、私たち一、二年生の競技の際にも、すぐそばまで来て応援して下さり、最後まで、全校生徒が、全員で楽しめるように、盛り上げて下さいました。

スポカルでは、得点のたびに、クラス全員で喜んでいた姿が思い出されます。

これらの行事を通して、皆様から、力を尽くすこと、そこにいる全員を思いやることを学

びました。

部活動では、三年生の皆様がひたむきに取り組む姿勢や、私たち後輩への、温かく、時には厳しい指導を通して、気持ちを一つに、目標に向かって進むことの大切さを学びました。

四月からは、私たちが最高学年となります。今まで三年生の皆様から学んだことを、今度は、私たちが後輩に引き継いでいくことを、ここに誓います。

これから、三年生の皆様は、進学や就職と、新しい環境で、それぞれの夢に向かって進まれます。

その中で、かけがえのない出会いもあれば、時には不安になったり、困難に直面したりすることもあるかと思えます。そのときには、この学校で過ごした三年間を思い出し、自分を信じて

夢に向かって進んでください。私たちをこころ
で導いてくださった皆様なら、必ず夢を実現
できると信じています。

最後になりますが、皆様のこれからの活躍
をお祈りし、送辞といたします。

二〇二〇年三月一日

在校生代表 吉田敦登